



田んぼの足跡の食卓

織羅部落の大きな足跡がある田んぼで、ごちそうをいただきます。この地で収穫された自然の味、織羅部落を代表する3つの作物、「米」「クズウコン」「金多児筍」をいただき、食べ物がもつ本来の味を味わい、作物の魂を感じてみましょう。田んぼの足跡でいただく料理は、織羅部落の文化生活の精神に通じる新たな扉を開いてくれるでしょう。

田んぼの足跡の食卓のほか、部落の郷土料理もあります。



情人袋DIY

アミ族の伝統的な祭りの日に身に付けていた情人袋(想いを伝える袋)が、普段使いできるデザインになりました。何本もの糸で編まれた情人袋がアミ族の文化ではどのような意味を持っていたかを聞きながら、今のデザインになるまでのプロセスを理解し、2、3人で力を合わせて糸を織って作ります。単なる手作り体験だけでなく、作っている途中のやり取り、交流、糸を張ったり織り交ぜたりしていく中で、作り手同士の関わりも変化していきます。



文化ガイドツアー

多様なエスニック・グループが共に暮らす織羅部落では、皆が部落に溶け込んでいる様子を見ることができ、客家系華人、閩南系華人、先住民族の人々は、だれもが楽しく愉快地暮らしています。部落の人々と一緒に北回歸線が通る春日派出所を訪れたり、ドキュメンタリー『看見台灣(天空からの招待状)』の撮影時にチー・ポーリン(齊柏林)監督が皆を集めた大木の下に座ったり、部落を訪問したり、全身でしっかり文化を感じてみましょう。



お米アート

農産品の販売促進方法としてひらめき販売した彩絵米(お米アート)は、今では織羅部落の農産品の目玉となっています。栄養成分比率のテストと計算を行い織羅部落で栽培された赤米、紫米、アワ、白米、玄米を、楽しくデザインして、イメージ通りのデザインをしてみましょう。



農業体験

主に海岸山脈に生えている金多児筍は、アミ語で「Kingtol」と呼ばれています。金多児筍は普通のタケノコと違い、やわらかく細く、収穫期は毎年6月から10月です。葛鬱金(クズウコン)はアミ語で「Alida」と呼ばれ、収穫期は11月から翌年の4月頃までで、真っ白く細かな澱粉を天然のとりみ成分として、飴、プリン、ゼリーの材料にもなり、ヘルシーな点も注目されています。季節によって収穫が体験できる作物も異なります。ゼリーやドリンク作りを体験でき、それぞれの味わいを楽しんでみましょう。



范さんの愛玉ゼリー(オーギョーチ)作り

美食を楽しんだ後、台湾国民デザートと呼ばれる「愛玉ゼリー」を作りましょう! 織羅部落と地元の農家范さんと共に、愛玉ゼリー作り体験を提供します。台湾固有の植物の「愛玉子」と蜂と共生する物語を聴きながら、水の中で愛玉子をもんで、両手で愛玉ゼリーになるまでの不思議な過程を感じましょう。

コース案内

プラン

1 「田んぼの足跡の食卓」一日コース

文化ガイドツアー ➡ 情人袋DIY ➡ 田んぼの足跡の食卓 ➡ お米アート ➡ 愛玉ゼリー(オーギョーチ)作り

最少催行人数は25-40人、10-4月限定。

2 郷土料理半日コース

文化ガイドツアー ➡ お米アートDIY ➡ 郷土料理 ➡ 情人袋DIY ➡ 八卦網体験

交通のご案内

🚗 お車で越しの方

台9線 → 玉里鎮 → 中正北路一段 → 中山路一段 → 193縣道 → 織羅部落

🚆 公共交通機関で越しの方

- 台北から:
台北駅 → 台湾鉄道東部幹線 → 瑞穗駅 → 花蓮旅客バス1135ライン>春日駅(織羅部落)
- 高雄から:
高雄駅 → 台湾鉄道南迴線 → 瑞穗駅 → 花蓮旅客バス1135ライン>春日駅(織羅部落)

お問合せ先 | 織羅米86
黃郁惠 0919-322-737
981 花蓮縣玉里鎮春日里泰林95-1号
14日前までにご予約ください



アクセス



サイトのリンク



交通部觀光署花東縱谷國家風景區管理處
East Longitudinal Valley National Scenic Area Headquarters, Tourism Administration, MOTC

廣告